

村内初となる

集落合同の避難訓練

大島・上土沢集落自主防災組織

九月十二日、大規模地震を想定した「大島・上土沢集落合同避難訓練」が、土沢小学校を本部に行われました。訓練は、集落間の協力体制を図ろうと、二集落合同で初めて開催。地元住民や消防団、村上市消防本部など約三百人が参加しました。

避難訓練では、大規模な地震が発生し、今後も余震が続くことを想定。広報無線で避難開始の放送を聞いた住民は、集落防災計画で決められている一次避難場所へ避難を開始。その後、二次避難場所である土沢小学校に集合し、安否の確認をしました。



村上市消防本部の指導を受けながら、心肺蘇生法やAEDの使い方を学習。

また、村上市消防本部による救急法講習や初期消火訓練、地震体験車による地震体験なども実施。中越地震の震度6を体験した男性の方は「これから揺れると分かっていても、とても怖いと感じました」と、話していました。そのほか、



婦人部の皆さんによる炊き出し訓練も行われ、いつ起こるか分からない災害に備えて、一人ひとりが防災意識を高めました。

勇壮に そして華やかに



「大蔵神社祭礼」が九月十四日と十五日の二日間、秋晴れのもとで行われ、お神輿を先頭に勇壮な大輪や華やかな山車、樽みこしが下関集落内を練り歩きました。

祭礼は、実行委員会を中心に、青年団や消防団、子どもたちが早くから準備をすすめていたもの。今年も集落がひとつになり、伝統ある秋まつりが盛大に行われました。

新・関川小学校の校舎 完成は11月下旬

平成21年4月に開校する統合小学校「関川小学校」の校舎新築工事が、現在、大詰めを迎えています。

平成20年7月から工事が進められてきた新校舎は鉄筋コンクリート造3階、体育館が鉄筋コンクリート造1階で、学童保育所も併設され、延床面積7,168㎡、屋根は瓦葺きとなっています。

現在、工事の進捗率は約7割で、11月下旬に完成予定。完成後は、12月に村内小学生児童全員や村民対象の校舎見学会、関小学校児童の引っ越しを行った後、旧校舎の解体作業に着工する予定です。



関川小学校の正面玄関

関川産米

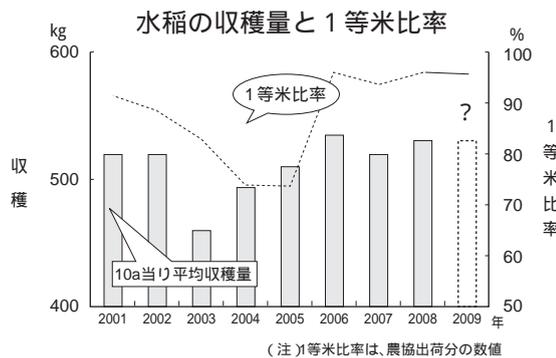
一斉に
秋の収穫

秋の収穫期を迎え、村内のあちらこちらで稲を刈るコンバインの音が鳴り響いています。酒米の五百万石や早稲品種のこしいぶぎ、ゆきの精などの刈り取りが九月中旬から開始。また、コシヒカリの収穫は下旬がピークで、十月中旬まで続く見込みです。昨年同様天候にも恵まれ、関川村のコシヒカリの品質は一

等米比率で九五・五%と県平均の八四%を大きく上回り、収量も十アール当たり五百三十kgと豊作になりました。



北陸農政局新潟農政事務所の農林水産統計によれば、今年の岩船地域の作柄はやや不良と予想されています。



あの甲子園の感動再び

ダブル
Wなおき 出身の関川村で
巡回写真展が開催

夏の甲子園で準優勝を成し遂げた、日本文理高校野球部の活躍を振り返る、新潟日報社主催の写真展「準優勝の軌跡」が、県内巡回に先駆けて9月8日から18日まで村民会館で開かれ、村内外から大勢の方が訪れました。

写真展は、初戦から決勝戦までを追ったプレーや閉会式での写真パネルなど約40点のほか、本社号外11枚がずらり。村出身のバッテリー伊藤直輝さん、若林尚希さんの活躍はもちろんのこと、スタンドでの関川応援団の姿や桂の関温泉ゆ〜む、関川中学校での応援風景も飾られ、訪れた方は夏の感動を再び思い出していました。

新発田市から訪れていたご夫婦は「歴史を塗り変えた日本文理に感動しました。写真を見るとあの時の興奮がよみがえります」と話し、また、村内の方は「村出身のバッテリー2人が、関川村を全国にアピールしてくれました」と、熱心に写真を眺めていました。

九月一日、交通安全全国キャラバン隊による交通安全メッセージの伝達式が、村民会館大ホールで行われました。



平田村長から金子和子隊長に手渡された「道は縄文時代から在る」を書いた色紙

『交通事故を減らし、
安心・安全な生活を』
全国交通安全キャラバン隊

交通安全キャラバン隊は、「みんなですすめよう交通安全」をテーマに内閣府が主催、全国交通安全母の会連合会が、七隊に分かれて全国を巡回し、交通安全を呼び掛けているものです。当日は、金子和子キャラバン隊長が内閣府の交通安全メッセージを伝達。また、平田大六村長からは交通安全色紙が手渡されました。そのほか、伝達式の後は、村上警察署の小林弘幸係長からの講話、県警本部の腹話術などの高齢者交通安全教室が開催され、参加した約百人の方は、交通安全意識をさらに高めていました。